



ふくちやまし

議会だより

No.19

平成9年11月10日
発行 福知山市議会

編集
福知山市議会だより編集委員会
福知山市字内記13の1
☎0773(22)6111



総務委員会 10月22日 上田市の情報化推進について説明を受ける



市民厚生委員会 10月7日 笠岡市 粗大ゴミ処理センター調査



経済委員会 10月21日 深谷市 特産物振興調査



文教建設委員会 10月8日 弘前市 駅前地下駐輪場調査

各常任委員会の行政視察

9月定例市議会の概要

9月定例市議会は9月9日から10月1日までの23日間にわたって開催された。この定例会では平成9年度一般会計補正予算など26議案が上提されたが、そのうち「8年度決算の認定」2議案は、18日に設置を決めた「決算審査特別委員会」で継続審査を行うこととし、あとの24議案はいずれも原案どおり可決した。また、秋の全国交通安全運動に呼応して、22日に「シートベルト着用と飲酒運転追放に関する決議」を行った。そのほか2件の意見書を関係機関に送付することとした。

▼補正予算

一般会計では2億8、944万円を補正し、補正後の総額を26億8、307万6千円とした。また、15特別会計のうち5特別会計で6億2、568万3千円を補正し、今回の補正後の全会計予算額は、62億1億5、110万2千円となった。

▼補正の主なもの

- ・ 福知山城来館者用便所建設 3、000万円
- ・ 巡回型ホームヘルプサービス事業（年中無休・24時間体制を紫豊館で） 596万円
- ・ 災害復旧事業（今夏の農林・土木災害の復旧） 9、745万円

▼主な条例改正

・ 国民健康保険事業基金積立（国保特別会計） 9、668万円

料金体系の従量制移行に伴う簡易ガス供給条例の全部改正。一種二種の種別撤廃などを内容とする公営住宅法の改正に伴う市営住宅条例の全部改正等。

▼人事議案

公平委員に笠原彰氏（水内・70歳・再任）、中丹伝染病隔離病舎組合議会議員に人見環洙氏（蛇ヶ端・85歳・再任）と高橋昭治氏（南岡・70歳・再任）、教育委員に芦田ふゆ子氏（東羽合・53歳・再任）の選任、任命にそれぞれ同意した。

一般

質問

(9月定例会)

弘法川水辺環境整備と焼却施設・環境保全対策等について

政和会

質問 これから寒い冬を迎えるが、過疎農村地域の除雪計画を高齢者福祉の立場から過去の慣例にかかわらず大幅な見直しを。

答弁 除雪計画は89路線94kmで積雪15cm以上になれば除雪し毎年見直しもする。また自治会の協力が得られれば除雪機の補助をする。

質問 歩道設置・歩道駐車取締強化・地区内道路の全面駐車禁止を。

答弁 国、府道においては改良整備を進めている。特に道路幅員の狭い所は無理でも、通学路は重点的整備をお願いしたい。交通安全対策は警察と協議対応する。また、不法駐車は交通量の多い所を中心に取り締まりが行なわれている。

質問 暴走族対策とその現況は。

答弁 現在は暴走族をパトカーで追わず、写真やビデオで被疑者を検挙。8月に検挙7人、逮捕5人、補導20人で暴走族は沈下傾向。

質問 弘法川水辺環境整備を。

答弁 以前はホタル飛び交う清流であった。両岸に花木等を植栽し昔の清流を取り戻し散策のできる河川に近づきたい。

質問 有害鳥獣の積極的な駆除を。

答弁 有害鳥獣の保護はナンセンス。捕獲したいが鹿の雌は保護的考えもあり難しい。フェンス・電気柵設置には補助する。人家近くや獣道は罠で駆除する。

質問 焼却施設と環境保全対策は。

答弁 昨年6月よりフロンの抜き取り実施。乾電池は北海道に送り処分。水質は月1回検査実施。ゴミ袋の有料、透明化など今後市民の理解を求め改善せねばならない。

質問 高校総体の波及効果は。

答弁 競技選手と監督4、829人。応援20、500人。宿泊は福知山と周辺40施設で約2万人。

質問 文化芸術会館と交流センターとの整合性は。

答弁 芸術会館は、概念的な規模のみを検討し、交流センターとは発想も異なり整合性はない。

ごみ焼却施設のダイオキシン対策・府北部拠点都市基本構想は

新政会

質問 本市はごみ焼却施設を4億6250万円の巨額を投じ建設工

事が進められるが、旧施設の使用期間中のダイオキシンの発生濃度は厚生省環境基準以下に維持できるのか。



集荷された平成9年産米

答弁 二次燃焼バーナーを設置し、より燃焼効果を高めると共に、構造維持管理基準を遵守していく。

質問 新たな農業基本法の制定にむけて、今、農業者は何をしたらよいのか。また、行政はどのような行動していくのか考えは。

答弁 現在調査会で食料・農業・農村の各部会に分かれ論議が進められているが、国民的な議論を幅広く巻き起こすと共に、国民的な合意形成が必要である。このことについて、農協など農業関係組織で全国運動として署名運動が取り組まれている。

質問 京都府北部四市三町による北近畿地方拠点都市地域基本構想

が策定された後の動向は。

答弁 広域行政の一つで1995年に策定され、府南部の一極集中を是正するもので、各市町村の拠点整備を10年間で進めようとするものである。食肉センターは構想に含まれていなかったが、広域行政連携の上で意義が大きい。

質問 大規模災害発生時には、同時に多発する出勤要請に消防組織は対応じきれない。地域で助け合う自主防災組織が必要であり、組織作りには自治会への情報提供指導が不可欠ではないか。

答弁 現在3ヶ年で見直し中の防災計画のなかで考えている。

質問 故芦田均元首相の生家「夏雲荘」は老朽化が激しく、地元は建て替えを強く要望しているが市の考えは。

答弁 夏雲荘は由緒があり、市にとっても大切な施設で遺品があれば資料館にできるが、物が無い。夏雲荘がある限り遺徳が偲べるので今しばらく研究をしたい。

第二次行政改革の進捗状況・防災対策・鳥獣被害対策について

福政会

質問 第二次行政改革大綱が策定されてから1年半が経過した。市民はその改革について大きな関心をもって見守っている。事務事業の整理合理化や組織機構確立などで、どのような改善、改革ができたのか。

答弁 O A化による事務処理の迅速化と、言うことで、住民情報、財務会計、高齢者福祉、人事給与等のシステムが稼働しており、一つの成果と言える。また、証明書の自動交付機が10月1日から稼働すること、窓口のサービスの向上がはかられる。組織機構改革として、今年4月1日より市長部局で6課9係を減らし、教育委員会で2係を増やした見直しを行った。

質問 本市の急傾斜地危険箇所は何ヶ所あるのか。そして地域住民なり自治会はその実態を把握しているのか。

答弁 高さ5 m以上で、傾斜角度



鴨谷の防災対策事業現場▶

が30度以上の急傾斜地は、昨年度京都府がパトロールして見直した結果では、本市の場合100ヶ所ある。マップでの周知はやっていないが、現在防災3ヶ年計画で地区別防災カルテを作成中で、10年度に全面改定を行い、危険箇所の処置や方法などを明示する。自治会長にはそういう危険箇所があるということを知っていただくことは大切であり、しかるべき処置をしたい。

質問 鹿、猪等の鳥獣被害は、昨年度京都府では4億8千5百万円出ているが本市の被害状況は。

答弁 平成八年度の被害総額は、1千166万5千円である。

質問 昨年度に鹿の生息調査を実施したが、その結果はどうなっているのか。

答弁 京都府が実施した鹿の生息調査では、福天地方で推定生息数として、3千から5千頭が生息しているとみている。

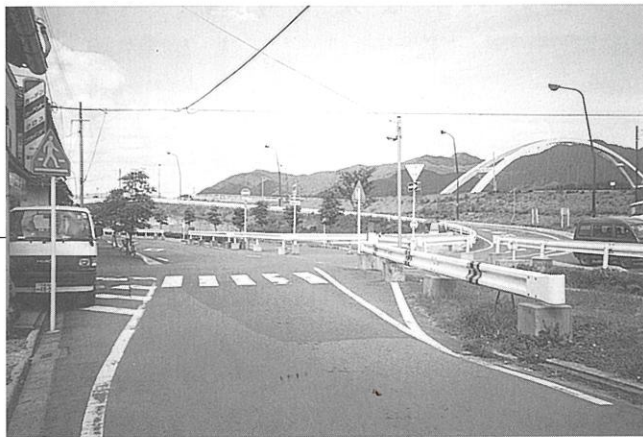
都市計画道路厚水内線の進捗状況
福知山駅高架化の状況と見通しは

自民クラブ

質問 都市計画道路厚水内線は、いつまでも現状のまま放置していたのでは、多くの市民の不信を招く。6月議会で、家屋移転の行政代執行費が議決された。相当の考えがあつてのこと、やむをえないと思う。

また、すでに移転された方々に對しても、それなりの配慮が必要と思う。また、現状の交通事情から考えるとき、音無瀬橋から呉服町への進入時の交差点の関係、その付近の路上規制もあり、交通事故が心配される。このような事は道路の完成によって解消されるものであるが、現実の問題として市長の考えは。

答弁 事業の進捗率は現在94%で、6月議会で議決いただいたように、市の考えはご承知の通りだが法的段階があり、折衝中である。



都市計画道路厚水内線▶

質問 福知山駅高架事業の現在の状況と今後の見通しは。

答弁 近く起工式がある。関係6自治会で説明会を開催し、昨年度末で約3割買収した。JRは2006年、KTRは2008年の完成を目指している。しかし国の行政改革を見ると、遅れがちにならないか懸念される。遅れないよう十分お願いしていきたい。総事業費のうち市の負担分は、60億円を下らないだろう。長期の財政計画が必要になってくる。

質問 保健室登校が全国で増えていると聞いている。市の小・中学校の実態は。

答弁 登校拒否から回復しても、一気には教室へ戻れない子が多い。出席した日のほとんどを別室で指導した保健室登校は、中学校で6人いる。別室へでも「登校してき」と言うことを大切に、しっかり指導しなければと思っている。

花火大会・神姫バス・コンピュータ2000年問題について

市民クラブ

質問 花火大会は10万人の人数で、屋台店も数多く河川敷に並ぶため灯ろう流しが見えない。提防下にトイレがなく、周辺民家は大変迷惑を受けているが、仮設トイレの設置と万一の災害に備え河川敷に消防車の配備を。

答弁 屋台店は120台が出店していた。ゴミを含め後片づけも大変だった様子。今後は、今年の教訓を生かして、安全に見られるようにしたい。会場には警察と消防団を配備してもらい、万一来るに備えたい。

質問 神姫バスの柏原〜福知山間が10月1日付で運転休止のようだが、日吉ヶ丘、岩間方面の公共交通機関がなくなる。市の対策は。

答弁 今回は地元から休止反対の要請を受け、会社と協議。休止延期の了承を得た。しかし会社の都合で「市が何かを」と言うのは虫がいい話。しかし市民の足を考え



神姫バスの荒木口停留所▶

ると、そうは言っておれない。

質問 駅前駐輪場の放置自転車対策に行政、教育、地域関係者らによる協議会を設置してはどうか。

答弁 設置するなら学校当局にも入ってもらい、指導が徹底しているかなどを聞きたいが今後の検討課題としたい。

質問 「コンピュータ2000年問題」について、市が使用しているシステムへの影響とソフトの修正内容、対策費及びスケジュールについて。

答弁 市のコンピュータシステムは1万6千本以上のプログラムが稼働しており、1割相当が影響を受ける。財務会計システムなどで、履歴システムは和暦と西暦の変換が必要だ。対策費は5百〜6百万円である。ソフトの変更でハードの変更は不要。修正には64人で1ヶ月必要となり、98年中にテストを終えておかなければならない。日常業務や住民サービスへの影響が出ないようにする。

医療改悪問題・地元負担金問題の解決・商店街振興の充実

日本共産党市会議員団

質問 医療制度が改悪され、患者負担が大幅に増加した。特に高齢者や慢性疾患の患者、また難病の方々には、大変な負担となった。さらに、今回の改悪にとどまらず今後も一層の患者負担強化が計画されている。この医療大改悪について、市長の見解は。

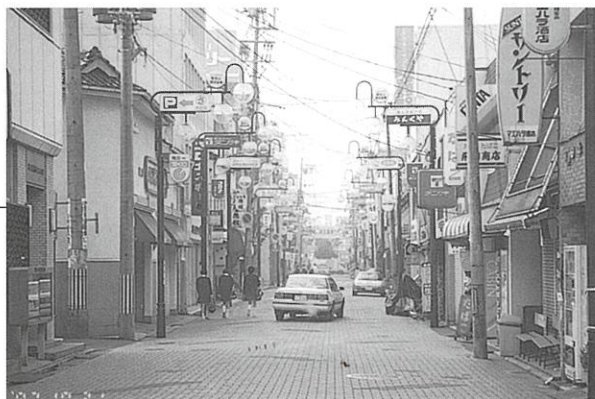
答弁 医療制度は、28兆円の赤字で、今回の措置はあくまでも見直しであり、大改悪とは考えていない。

質問 慢性関節リウマチで苦しんでいる患者の実態把握と支援策は。

答弁 実態は把握できていない。他の法律で対応できない重度の人には、対応している。

質問 府下の中で、地元負担金を徴収している市は、本市だけと比べており、強制寄付的な制度はやめるべきだが、市長の見解は。

答弁 地元の皆さんの、自主的



振興策がまつられる商店街▶

熱意ある寄付金と考えている。地元と行政の信頼関係にたって行われている。

質問 学童保育が、児童福祉法の改正で法制化されたが、どのように受け止めているのか。また本市で自主的に取り組まれている学童保育の中で、20人を超える児童が通うところも出ているが、行政支援は。

答弁 児童福祉法の改正の内容について研究したいが、あくまでも従来のやり方を基本にしたい。行政支援には、諸条件のクリアが必要だ。今は、個々の箇所への支援は考えていない。

質問 市内商店街振興のために、空店舗調査が行われているが、市内中心部は高齢化も進んでおり高齢者対策と商店街振興をむすびつけた振興策は出来な

答弁 シルバーサービスはいい考えだ。検討していきたい。

子ども議会の開催・不登校児対策
公的臍帯血バンクの早期設立を
無会派

質問 参議院創設50周年を記念する「子ども国会」が参院で開催され、これには全国から選ばれた「子ども議員」251人が登院、活発な議論が展開された。本市でも子ども議会を開催しては。

答弁 市制施行60周年記念事業の一環として、ふるさとのことを考える議会にと、11月下旬に考えている。市内18小学校から代表を集め開催したい。

質問 神戸で起きた殺害事件以来、子どもの緊急避難先となる「子ども110番のいえ」の設置数が全国的に急増しているが、本市においても犯罪から子どもを守るために設置すべきでは。

答弁 神戸の事件以来、府警でも対策が考えられ、各市町村に設置



されている。福天一市三町でも各小学校ごとに指定し、看板を掲げてもらっている。市内18小学校下で190軒が指定され、子どもの安全を見守ってもらっている。

質問 登校拒否児らの適応指導教室「けやき広場」の今年度の状況は。

答弁 小中学生合わせて7人通っている。人によつてそれぞれで、連日の子もあれば、休みが多い子もある。開設は月曜日から金曜日まで、スタッフは嘱託1人と専任教員が2人。子どもの自主性を尊重した1日のスケジュールを組んでいる。

質問 白血病

や再生不良性貧血などの血液疾患の治療に有効とされる「臍帯血」移植の公的バンク設立の要請を。

答弁 知事会で国へ要望書を出すようだが、市長会でも話が出れば善処したい。

議会日誌
(8月～10月)

8月

- 4日 由良川沿川市町議会関係委員会
- 5日 非核都市宣言自治体全国大会 (広島)
- 6日 広島市平和祈念式参列
- 11日 議会運営委員会
- 19～20日 共産党議員団行政視察
- 20日 喜多方市議会視察来市
- 22日 全国議長会基地協議会近畿ブロック会議 (舞鶴)
- 25～26日 由良川沿川市町議会陳情 (東京他)
- 26日 北部四市議会連絡協議会 (宮津)
- 27～29日 政和会行政視察
- 29日 全国高速道通過市議会協議会理事会 (東京)

9月

- 1日 議員研修会、市議会史編さん委員会
- 2日 議会運営委員会
- 4～5日 議会運営委員会行政視察
- 9日 9月定例会開会、全議員協議会
- 12日 一市三町議長会



10月

- 1日 9月定例会閉会 (委員長報告・採決)
- 6～8日 市民厚生委員会及び文教建設委員会行政視察
- 10日 市制施行60周年記念式典
- 16日 議会だより編集委員会
- 20～28日 全国議長会海外行政視察
- 21～23日 総務委員会及び経済委員会行政視察
- 28日 京都府市議会議長会 (宇治)
- 29日 決算審査特別委員会
- 30日 議会だより編集委員会
- 31日 決算審査特別委員会

決

シートベルト着用と飲酒運転追放に関する決議

悲惨な交通事故をめぐる状況は「戦争」とまで言われて久しいにも拘らず、一向に減少の気配なく、特に福知山警察署管内では、平成8年において件数、負傷者数とも前年に比べて約1割も増加したと発表されている。交通事故の防止については、帰着するところ1人ひとりの運転者

議

がルール、マナーを守ることに尽きる。

なかでもシートベルトの着用と飲酒運転防止は、人命尊重のうえからも、いうまでもない最も基本的な事柄である。現下の厳しい交通情勢にあつて、事故のない、明るい福知山市を築くために、当市議会はシートベルトの着用、飲酒運転の追放の徹底をここにあらためて決議する。

9月定例会で提出した意見書

地震災害等に対する国民的保障制度の創設に関する意見書

あの甚大な被害をもたらした阪神・淡路大震災から2年8ヶ月が経過した今もなお、何万人もの人々が住宅再建の目処さえたらず仮設住宅等での自由な生活を余儀なくされているが、地震列島日本においては、国民は不断にこうした危険にさらされていることは言をまたないところである。大震災の被害者に住宅再建等救済の道を開くとともに、広く国民の自然災害被害に対処するため、政府におかれては、次の項目について早急に実現されるよう強く要望する。

- 1 地震、津波、風水害、噴火などの自然災害被害者の住宅復興を促進するため国家的保障制度を創設すること
- 2 給付の対象は住宅と家財とし、基本的な生活再建を促進する内容にする

こと

3 給付財源を確保するため、国・地方公共団体及び国民によつて公平で納得のできるシステム設計を図ること

4 創設する制度については、直接・間接を問わず阪神・淡路大震災の被災者に何らかの救済措置が適用できるように設計すること

● 提出先 内閣総理大臣、大蔵大臣、自治大臣、建設大臣、総務庁長官、国土庁長官

難病対策を後退させることなく積極的な拡充を求める意見書

わが国の難病対策は、昭和47年の難病対策要綱策定以来、「調査研究の推進」「医療施設の整備」「医療費の自己負担の解消」を3本の柱として進められてきた。近年では保健・医療・福祉の総合的な対策の推進がはかられてきたところである。しかしながら、この

ほど公衆衛生審議会難病対策専門委員会は「医療費の患者負担の導入」「対象疾患の見直し」などを内容とする報告書を国に提出し、患者に大きな不安を与えている。

この際、国においては、厳しい財政状況下ではあるが、今まで前進してきた難病対策の後退につながるこうした見直しを行なうのでなく、むしろ闘病と日々の生活に苦しむ患者のために対策の積極的な拡充をはかれるよう要望する。

● 提出先 内閣総理大臣、厚生大臣、大蔵大臣

請願

(継続となったもの)

■私学助成制度の拡充を求める意見書の提出に関する請願 (請願者 京都私学助成をすすめる会会長 中村益昭氏)

■情報公開条例の制定を求める請願 (請願者 福知山市労働組合連合会委員長 大槻一男氏他4名)

■「核兵器全面禁止・廃絶国際条約締結を求める意見書」採択に関する請願 (請願者 赤壁辰治氏)

■人事院勧告の凍結・抑制に反対する意見書に関する請願 (請願者 福知山市労働組合連合会委員長 大槻一男氏)

■生産者米価の価格対策の確立を求める請願 (請願者 農民組合京都府連合会会長 引野一成氏)

編集後記

福知山市制施行60周年を祝う多彩な記念行事が盛大に開催され、多くの皆様に参加していただきましたことは本当にうれしいことです。これを契機に21世紀に向けて、より住みよい活力のあるまちづくりのために努力してまいります。

いよいよ秋の深まりとともに寒さも加わってまいります。充分お体にお気を付けてください。

